

FSGカレッジリーグ合同成果発表会

文部科学省 平成26年度
東日本大震災からの復興を担う専門人材育成支援事業

福島の子ども達を健康に導く運動プログラム開発と指導者育成事業



郡山情報ビジネス専門学校 事業体取組内容

【震災後、福島県の抱えている問題】

- ①子どもの体力・運動能力の低下
- ②肥満傾向の子どもの増加



78%の家庭で、高い放射線量への懸念から子どもの外遊びを制限しており、室内に限られたスペースで楽しめる運動プログラムが必要



【実証講座】

①運動プログラム指導者育成のための実証講座

運動プログラムの内容の理解や、幼児・児童の運動や心理、怪我などに対する応急処置に関する概論などを、県内各地で実施しています。



南相馬市での指導者育成講座の様子



福島ファイヤーボンズ西廣トレーナーによる講座の様子

②運動プログラムの体験フェア

昨年度開発された、屋内の限られたスペースでも親子で楽しく取り組める運動プログラムの体験フェアを、bjリーグアカデミーや福島ファイヤーボンズと連携して県内各地で実施しています。



▲運動プログラム体験フェアの様子①



▲運動プログラム体験フェアの様子②

合同成果発表会では、運動プログラムの映像や作品関係をご覧いただけます。

FSGカレッジリーグ合同成果発表会

文部科学省 平成26年度
東日本大震災からの復興を担う専門人材育成支援事業

再生可能エネルギー・スマートグリッド分野技術者育成事業

wiz 専門学校 国際情報工科大学校 事業体取組内容

【震災後、福島県の抱えている問題】

- ①福島県の復興ビジョンで再生可能エネルギーが重要
- ②国や県の政策を基に産学官の連携事業が多く立ちあがっている

- ・再生可能エネルギー関連産業の誘致で雇用拡大
- ・県内出身者が県内で就職するための教育
- ・同分野での人材開発に貢献する



【実証講座】

- ①再生可能エネルギー対応電気施工技術者育成
- ②電気自動車対応自動車整備士育成
- ③スマートグリッド対応IT技術者育成

福島県の復興のカギを握る太陽光発電や風力発電などの再生可能エネルギー分野の教育プログラムの開発を行いました。本事業の成果としてエネルギー工学科を立ち上げ、本校のスマートキャンパスを実習施設とし、太陽光発電システム施工技術者を目指します。



▲WIZスマートキャンパス ディスプレイ



▲太陽光発電モジュールの取付



▲再生エネルギー教育プログラムを導入実践しています



▲REIFふくしま2014 再生可能エネルギー産業フェアに出展

合同成果発表会では、FSGキャンパスをジオラマにした太陽光発電パネルや技術者育成プログラムの内容などをご覧いただけます。

FSGカレッジリーグ合同成果発表会

文部科学省 平成26年度
東日本大震災からの復興を担う専門人材育成支援事業

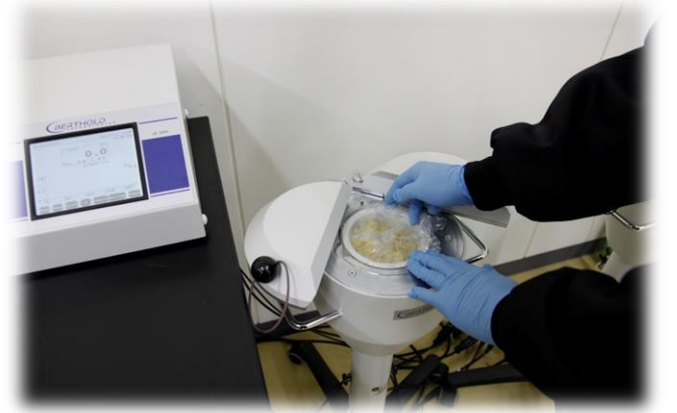
放射線の知識を持つ測定技術者の育成および計測支援事業

wiz 専門学校 国際情報工科大学校 事業体取組内容

【震災後、福島県の抱えている問題】

- ①食品の汚染や除染等の問題を長期にわたって抱える
- ②県外避難者約13万人

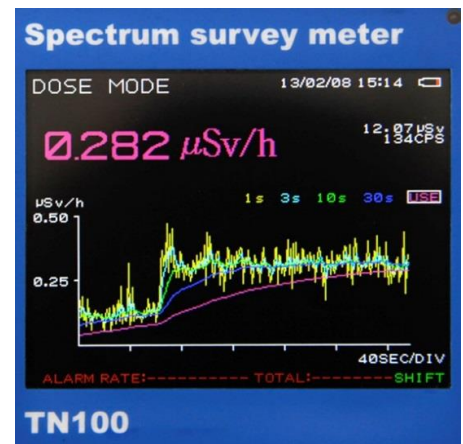
- ・放射線技術者の輩出
- ・測定従事者の知識と技術の向上
- ・同分野での人材開発に貢献する



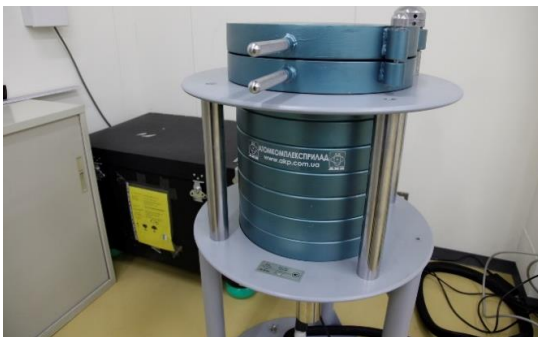
【実証講座】

- ①放射線工学科教育プログラム開発
- ②放射線測定技術者向け教育プログラムの開発
- ③測定技術者教育用教材の開発
- ④放射線教育支援(指導者の育成)

本事業開始とともに放射線工学科を立ち上げ、放射能・放射線の専門的な知識と放射線測定技術を持ち、福島県の地域事業にも通じた的確な助言や指導のできる人材を育成するための教育プログラムを開発しました。



▲NaI(Tl)シンチレーションサーベイスメータ



▲ゲルマニウム半導体検出器



▲放射線測定器



▲放射線工学科

合同成果発表会では、放射線教育の公開講座や
技術者育成プログラムの内容などをご覧いただけます。

FSGカレッジリーグ合同成果発表会

文部科学省 平成26年度
成長分野等における中核的人材養成の戦略的推進事業

マンガ分野において地方から発信できるグローバルな人材育成事業



国際アート&デザイン専門学校 事業体取組内容

【震災後、福島県の抱えている問題】

- ①「日本の魅力」であるマンガコンテンツを「産業」として日本の経済成長につなげる必要がある。
- ②閣議決定においても、海外市場獲得のための取り組みとして「クールジャパンの推進」が挙げられている
- ③特に今後急速な経済発展が予想されるアジア新興国の需要を取り込むことが日本の経済成長につながる。



- ・デジタルマンガ制作カリキュラムを導入し
海外向けマンガを制作
- ・地元企業の人材ニーズ調査
- ・海外におけるニーズ調査



▲CLIPSTUDIOでトーンの貼付

【実証講座】

- ①養成すべき人材像の設定
- ②教育プログラム・教材開発

インターネットを活用し、地方(福島)に居ながらにしてマンガコンテンツを制作し、出版社等と連携して海外に売れる作品を発信できる人材を育成するための教育プログラムの開発を行いました。ベトナムでのマンガの模擬授業やビジネスマンガの評価アンケートを実施しました。



▲ベトナムでのマンガコンテンツ制作



▲フォンドン大学



▲デジタルマンガ講習会の様子



▲ベトナムでの模擬授業の様子①



▲ベトナムでの模擬授業の様子②

合同成果発表会では、学生たちが制作したマンガ作品や教育プログラムの内容などをご覧いただけます。